

講座タ+F6+A+A5:H	お金の心配をしない経営実践セミナー ～コロナ融資の終了を見据えて～		
日時	6月21日 14時～16時	会場	大分県医師会館
主催者(プロジェクト)	財務部長	参加者数	20名
対象者	資金繰りに不安を持つ経営者(後継者)やコロナ融資を調達した経営者		
趣旨 ＜現状の課題＞	財務無策の現状の把握とその具体的解決法のご提案		
趣旨 ＜伝えたいこと＞	お金の心配をする経営からの脱却。そのために手元資金を厚くすることの重要性とその資金は必ずしも自己資金である必要がない事を理解していただき、お金の心配をしない経営を実践していただく。その為に我々が財務部長を代行する事で、経営者には経営に従事していただくことが可能となる。		
カリキュラム ＜講座概要＞	(起) アフターコロナの最新情報 財務の管理・戦略の重要性 財務無策のリスク 財務戦略の必要性	15分	担当者:大賀
	振り返り	10分	
	(承) 最近の銀行の傾向 先を見た資金繰りが重要 資金管理はきちんと行っていますか? 月次決算書が毎月届く会社、資金繰り表を作成している会社が評価が高い (転) ・資金繰り表の作成(参考会社を使用) 通帳残高だけでは分からない先を見通した資金繰り表の必要性 半年、1年先の資金繰り表が必要なわけ 決算後は定期的に銀行へ決算報告へ行った方が良いわけ →財務無策からの脱却	30分	担当者:福田
	振り返り	10分	
	(結)財務部長導入により業績改善、ポストコロナに向けた取り組みを実行出来ている会社の紹介 ・コロナ融資による低金利調達への借換 ・財務策によりコロナ前の貯蓄型保険の取込による資金不安解消 ・コロナ渦で業績悪化時も決算報告を欠かさなかった事で、ポストコロナに向けた新商品設備資金調達はスムーズに進んでいる。 財務無策からの解消→資金繰り表の作成や資金管理、銀行交渉等のスキルが必要 →自社で行えるのか、外部に頼むのか決定する 【コロナ借換保証】の紹介 制度利用にあたり、経営行動計画書の作成が必要となるが利用価値はある	20分	担当者:岩本
	振り返り → 資金繰り検討会につなげる	10分	
	【質疑応答】 有 ☒ 無 ☐ 【配布物】		